

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和6年12月19日(木)
第27号

◆じっしゅうほうこくかい ◆実習報告会◆

12月6日(金)に、1, 2年生の実習報告会を行いました。実習の様子をスライドに流しながら、生徒自身が成果と課題を中心に発表していきましました。1年生の生徒からは、「体がきつい時でもあきらめずに最後まで自分から仕事に取り組むことができました。」「お菓子作りの計量は難しかったが、衛生面に気を付けて最後までやり遂げることができました」などの報告がありました。2年生からは、「最初は緊張していたが、集中して作業に取り組むことができました。自分のやりたいことが見つかりました。」「自分の加工した部品が製品になっていることを実感できました」「上司から指摘されたことやアドバイスを忠実に守って作業することができました。」などが成果として報告できていました。また、生徒の実習ノートを見させていただくと、実習先の方から、「お客様目線でどうすれば効果的かしっかり考えてできています。」「初めのころより要領もよくなってきてスピードも速くなりとても助かっています。」というコメントをいただきました。しかし、「集中力が足りません。」「仕事をする上で、挨拶や報告の声が小さいです。」「メモを取って活用するようにしましょう。」という課題もいただきました。課題となったところは、家庭生活や学校生活の中で改善していき、素敵な社会人を目指し、頑張ってください。



家庭からの連絡で

「接客七大用語を声に出して練習していました」と、実習で教えていただいた接客用語を自宅でも練習し、実習に臨んでいる生徒の姿を教えてくださいました。

保護者の方へ

企業就労は、任された仕事を一人でこなすことが前提です。実習も同様です。まず家の仕事ができるように、自分の身の回りのことは一人でできるようにすることが大切です。

今後に向けて進路から

実習で大事なこと その1

- ・どんな仕事かを知る
- ・その仕事が自分に合っているかや苦手なことを知る

実習で大事なこと その2

- ・仕事を覚えて一人で次の行動ができる
- ・長く考え込まず 職場の方に報告や相談ができる

自立に向けて

- ・自分のことは自分です
- ・自分のことができないと、人と協力していく仕事はできるようにならない

次の実習に向けて

- ・1年生は仕事に必要な力を考える
- ・2年生は一社会人として取り組む
また、卒後の生活を考える

家で手伝いをしている人は「仕事ができている」

家庭で自主的に家事をしている生徒は、「①仕事の順番が分かる ②物の置き場所が分かり、使った物をもとの場所に返す ③仕事のスピードが速い」など就労に結びつくことへの力がついています。普段から家の仕事を積極的にするように心がけるようにしてください。